

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

黄色塗り部分は
決算報告時に記載（配付申請時は記載不要）

様式1】

令和4年度 校長経営戦略支援予算【学校配付】配付申請書

(校園コード 681511)

※校園コードを必ず入力してください。

学校名 古市小学校

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 988,000 円 → 決算額 986,260 円

2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級数	学級配当
350,000	+ 14学級	+ 8学級	× 29,000

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額	= 988,000
-------	-----------

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

全市共通目標(小・中学校)

- 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。(4)
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。(4)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する割合を70%以上にする。(5)
- デジタル教材を活用した朝学習を週1回実施する。(6)

目標に対する達成状況(取組完了時)

- | | |
|---|----|
| ○小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合は76.7%で全市目標には届かなかった。 | 達成 |
| ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は45.1%で全市目標に届かなかった。(4) | C |
| ○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。→(国語)4年は7ポイント向上。5年は昨年度と同じ得点。6年は2ポイント向上した。(算数)4年1ポイント向上。5年は1ポイント向上した。6年は6ポイント向上した。 | |
| ○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する割合は64.8%で全市目標に届かなかった。(5) | |
| ○デジタル教材を活用した朝学習を週1回実施できた。(6) | |

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ・児童の自尊感情・他尊感情を高めるための手立てとして、自然体験学習、たてわり班活動、異学年交流や地域との交流を計画し実践する。
- ・「他者への奉仕（ボランティア活動）」「助け合い・学び合い」「いいところ見つけ」などの活動を各学年で取り組むとともに、芸術鑑賞会や、委員会活動で花を育てることを通して、豊かな心の育成を図る。
- ・話し合いの深まりを感じさせるために、各学年や学級で教科を決めて振り返りを行い、又、それに対する評価方法を工夫することで子どもが「わかる」「できる」を実感できるようにする。
- ・対話による学びを深めるために、ペアやグループ、一人一台端末を活用した学習の機会を設ける。また、そのための研修、学年内での情報共有など行う。
- ・デジタルドリル、単元末テスト、計算ドリルなどを子どもの実態に合わせて組み合わせて使用する。
- ・週一回の朝学習はデジタルドリルを活用する。また、校内でデジタルドリルを授業内で活用したり、宿題や課題にしたりする「強化週間」を設け、積極的にデジタルドリルを活用できる期間を設定する。
- ・生活科、社会科等の調べ学習を行う際は、インターネットを活用したデジタルコンテンツ等を積極的に利用し、学習者用端末を活用する機会を増やす。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- ・令和4年度末の校内調査の「友達一人一人の違いを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。
- ・隔年で芸術鑑賞と音楽鑑賞を学校行事として設定し、情操教育を行う。
- ・学校アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」の項目を55%に向上させる。
- ・令和4年度の小学校経年調査における正答率が市の平均の7割に満たない児童を学校全体の5%未満にする。
- ・校内にて、デジタルドリル強化週間を学期に1回以上実施し、各学級や授業にて、デジタルドリルを活用した朝学習などを月に4回以上行う。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

- ・令和4年度末の校内調査の「友達一人一人の違いを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、94.1%で目標値より向上した。
- ・隔年で芸術鑑賞と音楽鑑賞を学校行事として設定し、情操教育を行い、全校生で音楽を楽しむことができた。。
- ・学校アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」の項目を55.3%で目標値を達成できた。
- ・令和4年度の小学校経年調査における正答率が市の平均の7割に満たない児童を学校全体の5.3%であり、0.3%目標値に達成できなかった。
- ・校内にて、デジタルドリル強化週間を学期に1回以上実施し、各学級や授業にて、デジタルドリルを活用した朝学習などを月に4回以上行ったり、学習中も調べ学習や、学習のまとめで活用した。

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

- ・昨年度はコロナ禍で、学習中の話し合い活動や発表の形式にも制限があり、児童自身も自分の考えが交流によって深まったり広がったりした実感を持てなかつたが、今年度は制限を少し緩和したり、高学年ではタブレットでまとめた内容を全体で交流したりすることができ意識が高まった。
- ・本年度は、全学年の国語科の単元テストを購入したことで、学年全体の傾向を把握することができ、学習の定着が弱いところは、学期末の懇談会と並行で放課後学習タイムを担外の職員で取り組み、経年調査に向けての学力向上に取り組んだ。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】			
・児童の自尊感情・他尊感情を高めるための手立てとして、自然体験学習や社会体験学習、たてわり班活動、異学年交流や地域との交流を計画し実践する。			

①予算内訳			
11-1 3年 くらしの今昔館見学交通費	@192×68=13,056		
08-5 3年 くらしの今昔館見学付添分交通費	@414×4=1,656		
08-5 3年 くらしの今昔館見学下見交通費	@460×3=1,380		
11-1 4年 毛馬水門交通費	@192×87=16,704		
08-5 4年 毛馬水門付添交通費	@384×6=2,304		
08-5 4年 毛馬水門下見交通費	@460×4=828		
11-1 5年 読売新聞見学交通費	@192×65=12,480		
08-5 5年 読売新聞見学付添交通費	@207×4=828		
08-5 5年 読売新聞見学下見交通費	@460×2=920		
11-1 6年 大阪国際平和センター見学交通費	@224×75=16,800		
08-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費	@504×4=2,016		
08-5 6年 大阪国際平和センターや見付添交通費	@560×2=1,120		
②決算内訳			
11-1 3年 くらしの今昔館見学交通費	@192×66=12,672		
08-5 3年 くらしの今昔館見学付添分交通費	@414×3+@416×1=1,658		
08-5 3年 くらしの今昔館見学下見交通費	@460×1+@360×1=820		
11-1 4年 毛馬水門交通費	@192×83=15,936		
08-5 4年 毛馬水門付添交通費	@414×3+@412×1=1,654		
11-1 5年 読売新聞見学交通費	@192×63=12,096		
08-5 5年 読売新聞見学付添交通費	@414×2+@416×1=1,244		
11-1 6年 大阪国際平和センター見学交通費	@224×70=15,680		
08-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費	@504×2+@502=1,510		

(2)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】			
・児童の自尊感情・他尊感情を高めるための手立てとして、自然体験学習や社会体験学習、たてわり班活動、異学年交流や地域との交流を計画し実践する。			
①予算内訳			
7-1 3年外国人教育研修会講師謝礼	4,300×1:45 @8,600×1=8,600		
②決算内訳			
7-1 3年外国人教育研修会講師謝礼	4,300×1:45 @7,500×1+交680=8,180		

(3)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】			
・「他者への奉仕(ボランティア活動)」「助け合い・学び合い」「いいところ見つけ」などの活動を各学年で取り組むとともに、芸術鑑賞会や、委員会活動で花を育てるなどを通じて、豊かな心の育成を図る。			
①予算内訳			
7-1 お話会講師謝礼	4,300×2h @8,600×1=8,600		
12 芸術鑑賞	@250,000×1=250,000		
②決算内訳			
7-1 お話会講師謝礼	4,300×2h @8,600×1=8,600		
12 芸術鑑賞	@250,000×1=250,000		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。

委員会使用欄は空欄としてください。

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・話し合いの深まりを感じさせるために、各学年や学級で教科を決めて振り返りを行い、又、それに対する評価方法を工夫することで子どもが「わかる」「できる」を実感できるようにする。 ・経年テストを分析し、7割以下の児童を分析・把握し、それらを基にした習熟度学習に一年間継続して取り組む。		委員会使用欄	達成
			B

①予算内訳 10-1 単元テスト（国語科） @65×3, 610=245, 160	②決算内訳 10-1 単元テスト（国語科） @65×3, 610=234, 650 10-1 学習タイマー @2, 198×35=76, 930
--	--

(2)取組内容【施策番号 施策名】 取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ・週一回の朝学習はデジタルドリルを活用する。また、校内でデジタルドリルを授業内で活用したり、宿題や課題にしたりする「強化週間」を設け、積極的にデジタルドリルを活用できる期間を設定する。 ・生活科、社会科等の調べ学習を行う際は、インターネットを活用したデジタルコンテンツ等を積極的に利用し、学習者用端末を活用する機会を増やす。	委員会使用欄	達成
		B

①予算内訳 17-2 ユニット黒板 @80, 300×3=240, 900	②決算内訳 17-2 ユニット黒板 @73, 250×3=219, 750
--	--

(3)取組内容【施策番号 施策名】 ・体力向上アクションプランや運動カードを活用して体育の授業を実施し、運動が好きになる授業づくりに努める。	委員会使用欄	達成
①予算内訳 10-1 鉄棒用下敷マット @30, 218×2=60, 436 10-1 軽量指導用ライン入連結エコマット @34, 440×3=103, 200		B
②決算内訳 10-1 鉄棒用下敷マット @15, 400×2=30, 800 10-1 軽量指導用ライン入連結エコマット @31, 360×3=94, 080		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
委員会使用欄は空欄としてください。